



湾岸・アラビア半島地域ニュース

クウェイト：サバーハ首長の発言

(9月2日付「ナハール」紙)

9月2日、サバーハ首長は「ナハール」紙のインタビューに応じて次のように発言した(概要)。

1. 首長と国民

クウェイトとその国民の将来は、自分にとって非常に重要である。多くの困難が取り巻く中で、クウェイトに安全と経済的な安定をもたらそうと取り組んでおり、国民が描くイメージを吸い上げる努力をしている。困難を乗り越えるには、我々が祖先から受け継いだ団結と協力の精神をもって、将来の困難に立ち向かえるクウェイト市民を作らねばならない。

2. 将来の課税、開発計画、民間部門

- (1) 課税は新しい概念ではない。税は、国家が市民に提供するサービスへの代価のみならず、市民による国家発展への貢献でもある。クウェイト国家指導部は、今後どのくらいの期間、国民に無償でサービスを提供し続けられるかいぶかしんでいる。望むと望まざると石油資源は無尽蔵ではなく、国家サービスは費用がかさむものであることを認めなければならない。国家が提供するサービスに対し課税しなければならない日が来る。低所得者の状況は考慮に入れられよう。
- (2) 収入の多角化と経済活動の発展を目的とした戦略の一環として、クウェイトを地域の商業・金融センターへと転換する開発計画が進められている。これにより、市民により多くの就労機会を提供し、次の世代に繁栄をもたらす持続可能な発展を達成できる。この野心的な計画の成功を保証するために、我々は新たな港湾の建設、道路の向上、投資を奨励し民間及び外国資本を引き付けるための法・規制の整備などのインフラ開発を通じて、開発に適した環境造りに取り組んでいる。
- (3) クウェイトの開発戦略は、民間部門の真摯且つ積極的な参加なくしては貫徹し得ない。だからこそ、我々は民間部門に、政府部門と協力して国家的な役割を担い、開発戦略に参加するよう呼び掛けている。

3. 教育・女性参政・イスラム

- (1) 国民は発展の基礎である。教育の向上やカリキュラムの改善に向けた計画が策定されている。次世代を担う若年層に将来の責任を担い、繁栄あるクウェイトを造らしめるため、十分な能力を備えた若者を育てなければならず、これなくして国家建設は出来ない。

- (2) 女性の参政権獲得については、その名誉は故ジャービル元首長に帰する。既に内閣で実現しているように、いずれ女性が国民議会で議席を得よう。自分は、これがすぐに達成されることを望んでいる。
- (3) イスラムは穏健な宗教であり、これに則って博愛、平等、社会正義を促進することが重要である。

4. 対外政策

- (1) クウェイトの対外政策は、憲法が定めた原則によっており、重要なことは、クウェイトの独立と主権を守り維持することである。アラブ・イスラム世界の利益やその将来を守ることと同様に、国際的約束の枠内で国家の至高の利益を守ることは極めて重要である。
- (2) イラクの安定は、例外なく域内諸国の安定の根源である。我々は、他のイラクの近隣国、兄弟国や友好国と、イラクに安定と安全を実現し、あらゆる紛争や緊張と無縁な世界の平和の核とするよう努力している。
- (3) ソ連が崩壊し米国が唯一の極として台頭したことで、確かに世界はもはや二極ではない。だが、洋の東西を問わず、国際の利益は、当然ながら国やその同盟相手ごとに異なり多極であり続ける。当然ながら、一部の諸国間では政治的・経済的影響力の程度に差があるが、世界に安全と安定をもたらすには、勢力均衡が求められることであり、重要である。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799